

## I 札幌市医師会西区支部研修会(西区在宅ケア連絡会 259 回例会と合同開催)

日時：令和3年9月9日(木)18:30~20:00

場所：web開催

テーマ：「with コロナ時代において地域ケアを実践するための西区コンセンサス(仮称)を作ろう」

COVID-19対策を始めて1年半以上経ちましたが、新型コロナウイルスは猛威を振るい感染予防対策は引き続き重要な課題です。一方で、このウイルスが在る日常において多職種が協働してケアを継続して行くことが求められており、他の課題と同様に西区内で合意できるコンセンサス=合意づくりを求める声も寄せられています。

西区支部では西区在宅ケア連絡会の場において参加者皆で検討していくことを呼び掛けました。259回ではまず、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常のケアや連携などにおいてどのようなことで困っているのか、グループ毎に疑問を出していただきました。出された疑問を整理し、翌月以降の例会で解決策について検討していく予定です。

尚、疑問を出しやすくするために以下の項目に分けて話し合いました。(感染者・濃厚接触者の自宅でサービス提供する上での疑問、介護者が感染し自宅に独りで残された際の疑問、感染情報を連携事業者間で共有する際の疑問、その他の疑問点どんなことでも。)

各グループから出された種々の疑問については、次月以降で検討する予定ですが、以下に抜粋します。

## ○感染者・濃厚接触者の自宅でサービスを提供する場合の疑問

- ・ヘルパーさんにどうしたら訪問してもらえるのでしょうか。
- ・生死に関わることもあり重度の障がい者に対しては訪問している。体調見極めのポイントが知りたい。
- ・近所の目があるのでPPEを装備しないで来て欲しいと言われることがある。  
→ 本年度の研修によりPPE選択、PPE着脱等について一定理解されて来たと思われます。

## ○介護者が感染し自宅に独りで残された際の疑問

- ・高齢者住宅で濃厚接触者になった方がヘルパーなどのサービスを一切入れず、食事のみ部屋に届けるのみ。入浴も出来ず部屋に2週間閉じこもり状態だった。
- ・老夫婦で認知症があると電話では実態が把握できない。
- ・食料などの補給が優先されると思われ支援したいが、どのように支援したらよいか。
- ・介護者が感染したということは、残された高齢者も発症してくる可能性があることを踏まえる必要がある。

## ○感染情報を連携事業者間で共有する際の疑問

- ・濃厚接触者となったことを伝えずに通所介護を利用した方がいて、事業所が一時休止になった。
- ・自宅に入室して面談の最中に「家族がPCR検査を受けた」と切り出された。
- ・訪問看護ステーションには災害時のように次々に連絡が入る。
- ・確かな情報を持っているところと共有できずにいることもある。
- ・情報を誰が集約するか。
- ・訪問看護、ヘルパー、薬剤師、看護師、医師、ケアマネ、相談員さんなど皆の情報を集約できる関係作り。
- ・ケアマネジャーが情報のセンターになって欲しい。
- ・職種の中でケアマネが中心になるのは、普段の情報を集約していることから必然と思う(ケアマネジャー)。
- ・本人や家族からの情報収集及び訪問が困難。真っ先にケアマネに連絡するという関係作りを西区で作って行く。
- ・ケアマネが保健所へ連絡したことがある。保健所からは何の連絡もないためこちらから逐一確認する必要がある。
- ・保健所とケアマネジャーの連携を特別なものとしていきたい。
- ・〇〇の時は△△するなど、一人ひとりの利用者については、この人に聞けば分かる!!というような、西区でのコンセンサスを作りたい。

## ○その他

発熱などの症状があると、感染者疑いと判断され専門医への受診が進まない事がある。例えば転倒して骨折の疑いがあっても発熱があれば受診させてもらえない場合がある。スムーズに受診出来る方法はないのでしょうか？

## 第5グループでの結果

<p>感染者、濃厚接触者の自宅でサービス提供する上での疑問</p> <p>薬剤師より 濃厚接触者・陽性の方の薬の配達調整に時間を要する。 電話での連絡調整に時間がかかる、精神的負担が大きい</p>	<p>訪問看護より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を誰が集約するか</li> <li>・災害時のように、次々と連絡が来る</li> <li>・情報を持っているところと共有できずにいる</li> <li>・お薬は届けているが、そのことが連絡できるときちゃんと内服できているか確認を</li> </ul>
<p>〇〇の時は△△するなど 一人一人の利用者さんについては、この人に聞けばわかる！！ というような、西区内でのコンセンサスを作る。</p> <p>訪問看護、ヘルパー、薬剤師、看護師、医師、ケアマネ、相談員さんなどみんなの情報を集約できる関係作り</p>	<p>ケアマネより</p> <p>かかわっている職種の中でケアマネが中心になるのは普段の情報を集約しているし、必然であると思っている 専門的な情報はそれぞれの専門 コロナ陽性の情報は保健所が本人よりとれていないこともある。</p>
<p>保健所とケアマネージャーの連携を特別なものにしていきたい</p> <p>ケアマネージャーが中心になって情報のセンターになって欲しい</p>	<p>患者さんから第一報がケアマネにくるか ↓ ケースバイケース（世帯状況・家族関係） 本人からの情報収集が難しい。訪問が困難 ↓ 真っ先にケアマネに連絡するという関係作りを西区で作っていく</p>

## II (令和2年度西区支部地域ケアに関する研修会での確認事項)

感染対策上の質問は以下にお寄せください。西区在宅ケア連絡会ホームページにQ&A集として掲載します。

西区在宅ケア連絡会 : [www.zaitaku-care.info](http://www.zaitaku-care.info)

北海道医療センター地域医療連携室 : [101-renkei-2@mail.hosp.go.jp](mailto:101-renkei-2@mail.hosp.go.jp)

## III 西区在宅ケア連絡会報告書 XVII (定期発行分) と XVIII (認知症ケアに関する研修会)

西区支部会員以外に、行政機関・地域包括支援センター・介護予防センター・西区社会福祉協議会を含め、西区の介護事業所等の方々にお届けし、西区支部の実践について報告致します。

## IV 今後の予定

- 10月14日(木) 18:30 西区在宅ケア連絡会260回例会<西区支部研修会との合同開催> Zoom開催  
「with コロナ時代において地域ケアを実践するための西区コンセンサス(仮称)を作ろう part2」
- 11月11日(木) 18:30 西区在宅ケア連絡会 261 回例会<西区支部研修会との合同開催>  
「内容未定」